

# まつだいら ゆういちろう 松平雄一郎

## 活動レポート 2026年 春号 とともに区民と。

会派

自由民主党文京区議会

所属

建設委員会 委員長  
子ども子育て特別委員会  
予算審査特別委員会

プロフィール

- 昭和54年7月、東京生まれ。文京区水道二丁目在住。
- 妻と娘2人(15歳、11歳)の4人家族。● 都立新宿高校卒業。成蹊大学経済学部卒業。
- 音楽レコード会社、環境コンサル会社勤務を経て、衆議院議員 辻清人 秘書を5年間務める。
- 平成31年、文京区議会議員に初当選。現在2期目。● 好きな音楽 90年代UKロック。

区政レポートをお手に取っていただき、ありがとうございます。令和8年度も、生活の課題に寄り添い、皆さまとともに明るい文京区を創るため、全力で取り組んでまいります。

お困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。松平雄一郎

### 1

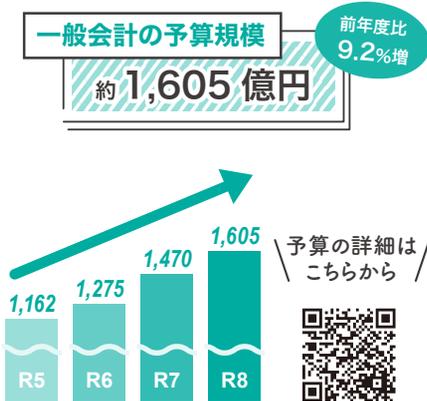
当初予算としては過去最大!

### 令和8年度文京区予算が成立しました。

人口の増加等の影響で、特別区税他の歳入は増えています。一方、ふるさと納税による税流出や、老朽化した学校や区有施設の改修・改築などの影響で、歳出の規模も増加しています。

基金の取り崩しや区債を活用しながら、防災・子育て・教育・物価高対策・福祉等の施策などに力を入れ、過去最大となる当初予算が編成されました。

私も予算委員会の委員として審議をし、3月17日の本会議にて可決成立しました。



### 3

後楽エリアのまちづくりは進んでいる?

### 後楽二丁目南地区の都市計画手続き開始!

後楽二丁目南地区では、平成16年よりまちづくりの検討を重ねてきました。このたび関係機関との協議が整い、市街地再開発事業に向けた都市計画の手続きに着手します。

飯田橋駅へつながる新たな歩行者デッキの整備や、土地の高度利用、広場整備、商業施設の誘導を進め、文京区南西の玄関口として、災害に強く、にぎわいのあるまちの実現を目指します。

今後の予定

- 令和8年度 都市計画決定
- 第一種市街地再開発組合設立
- 令和9年度 解体・建築工事着工
- 令和16年度 竣工(予定)



### 2

区有施設の改築にどうしても時間がかかる...

### 積極的に民有地を取得していきます!

区立小中学校や保育園、介護施設などの老朽化が進む中、一時移転先としての仮施設整備を目的に、民有地を積極的に取得していきます。

区民の皆さまへの影響をできるだけ抑え、工期短縮を目指して、区有施設の整備を進めていきます。

根津二丁目民有地 約376㎡ 保育園  
区立藍染保育園の改築時の仮園舎を整備。その後は他の区立園の改築で活用予定。

大塚四丁目民有地 約739㎡ 介護施設  
旧有料老人ホームの建物も取得し、内装を改修。区内介護施設の改築時の一時移転先として活用。

東邦音楽大学文京キャンパス 約6,400㎡ 小中学校  
区立小中学校の改築時の仮校舎整備のため、令和7年6月に取得。今後は、複数の学校改築時に活用予定。



### 4

入学の準備にお金がかかる...

### 新入学のご家庭に入学準備金を支給します!

教育費の負担が高まる中、入学準備にはランドセルや学用品、制服など、多くの費用がかかります。家計の負担を少しでも軽減するため、新入学を迎えるご家庭に、入学準備金を支給する事業を開始します。

対象

12月1日時点で住民登録があり、翌年4月に小・中学校(区立・国立・都立・私立・特別支援学校など)に入学する児童・生徒の保護者

金額(1人あたり) 区立以外に進学するご家庭も対象です!  
小学生5万円 中学生10万円



### 日々の活動のご報告





## 議会で質問しました!

※令和7年度定例議会一般質問から抜粋

質問

1

### 一人暮らしの高齢者へさらなる支援を!

超高齢社会を迎える中、東京都心において、未婚のまま高齢期を迎える方や、子どもとの別居や配偶者との死別・離婚などを理由に、1人暮らしの高齢者世帯は増加傾向にある。健康面、経済面、社会的孤立など課題が多い、単身高齢者への支援の充実が必要ではないか?



**区長答弁** 本区の高齢者単身世帯数は増加傾向にあり、今後も高齢者人口の増加に伴い、増加していくものと考えている。住み慣れた地域で安心して生活できるよう、適切な支援について、引き続き検討していく。



QRコードから全文を読めます!



質問

5

### 外国人児童生徒への対応について

近年、中国人富裕層の動向を背景に、日本語が分からない児童生徒が増加し、学校生活への適応や教職員と保護者の意思疎通が課題となっている。これまで、日本語指導協力員による授業支援や、外部団体と連携した放課後の日本語サポート教室、保護者向けオリエンテーションを実施してきたが、その成果は何か?



日本語指導が必要な児童生徒(令和6年度)

今後は、転入前の子どもと保護者を支援する「プレスクール」の実施など、教職員の負担軽減も含めた支援強化が必要と考えるが、区の見解は?

区長答弁

オリエンテーションでは、持ち物への記名やゴミ出しなど地域のルールを外国人講師が説明している。教職員の負担軽減とともに、地域全体が安心して暮らせる共生社会の実現に寄与するものと認識している。

教育長答弁

受講した児童生徒の学校生活への適応と円滑なコミュニケーションを促進し、全ての児童生徒が安心して授業に参加できる環境づくりにつながると考えている。今後も必要な見直しを行い、より効果的な支援に努めていく。

区内176人  
中国語(約9割)

増加傾向!



質問

2

### 高齢者への見守り相談体制の充実を

町会や民生委員等による見守り・相談支援、高齢者クラブ等によるサロンやサークルは、単身高齢者の社会参加を促す重要な役割を果たしてきた。一方、担い手不足や会員数の減少が課題。今後は、民間サービスもさらに取り入れ、多様な支援体制を整える必要があると考えるが、本区の見解を問う。



**区長答弁** 町会や高齢者クラブの加入率低下や、民生委員・児童委員の担い手不足は課題と認識している。単身高齢者が増加する中、適切な見守りには、地域資源の掘り起こしや地域活動の活性化が重要。IoTを活用した民間の見守りサービスの更なる充実を含め、ニーズに応じた支援を引き続き検討していく。



質問

6

### SNSから小中学生を守る情報モラル教育の充実を

スマートフォンの普及により、小学生の約7割、中学生のほぼ全員が専用端末を持つ時代となった。インターネットを日常的に利用する中、無意識によるいじめやトラブルを防ぐためにも、公共ネットワークのルールやマナーを身に付ける「情報モラル教育」の一層の充実が必要と考える。区の見解は?



教育長答弁

外部講師による授業や情報モラル教材アプリを活用し、情報活用能力の育成を図っている。今後もこうした取組を継続し、児童・生徒の情報モラル向上に努めていく。



質問

3

### 介護保険サービスの分かりやすい周知を

介護や支援が必要な状態であるにもかかわらず、制度を理解していない、または介護サービスの利用を望まないため、支援が行き届かず孤立につながる場合がある。こうした課題についての本区の見解は?



**区長答弁** 必要なサービスを利用していない方が一定数いることは認識しており、戸別訪問等の機会を通じて案内している。今後、介護保険サービスを含め支援が必要な高齢者の増加が見込まれることから、制度の周知とともに、個々の事情に応じた支援に努めていく。



質問

7

### いじめを生まない社会を目指して

学校外やSNS上での見えにくいいじめが増加し、被害も多様化している。早期発見・早期対応には、保護者や地域との連携強化が不可欠である。さらに、学校だけでは対応が困難な重大事態には、児童相談所や警察とのさらなる連携が重要と考えるが、区の見解は?



教育長答弁

いじめの早期発見・早期対応には、保護者や地域の理解と関係機関との連携が重要と認識している。そのため、学校の取組について情報発信を進めるとともに、児童相談所や警察等と迅速に連携できる体制を整え、今後も連携強化に努めていく。



質問

4

### 認知症などの高齢者を守る成年後見制度をもっと利用しやすく

成年後見制度は、認知症など判断能力が低下した高齢者の権利を守り、財産管理や契約などに活用できる重要な仕組みであるが、利用は少数にとどまっている。申立てに係る書類準備の負担や高額な費用負担などが課題と考えるが、区の見解は?



**区長答弁** 申立ての煩雑さや費用負担が課題であると認識している。社会福祉協議会の権利擁護センターにおいて、申立費用の助成や弁護士等による専門相談を実施している。さらに、市民後見人養成講座を開始し、成年後見制度の利用ニーズに対応していく。



お困りごと、区に関するご意見などございましたらお気軽にご連絡ください!

区の最新情報や日々の活動を更新中! いいね&フォローお願いします!

まつだいら ゆういちろう  
松平雄一郎

文京区議会議員  
Official Site

yatsudaira.com



Facebook



Instagram

